

Ⅲ 平成24年度統合小学校教育課程編成方針

1 教育課程の時数配置の基本的な考え方

- ① 学校経営方針の重点をもとにして，時数配分等を検討する。
- ② 教育委員会の基底教育計画の示す単元及び題材の時数は，参考とする。
- ③ 国語科，算数科，社会科，理科の単元の配列は，学期をまたがないこと。
- ④ 国語科，算数科，社会科，理科以外の各教科の学期の総時数が，学期内に配分できない場合は，「音楽科，図工科，生活科，総合的な学習の時間，道徳」を適時，次学期に配分する。
- ⑤ 余裕時数は，算数を中心に配当するため，学年の終わりに補充学習に使う。

2 各教科

教科	学年	時期 (月)	教育課程編成における留意点
			※全=全学年に共通すること ※1h=45分間の1単位時間
国語科	全学年	9月 1月	敬老の日の手紙書き1hを位置づける。 全国標準学力検査(NRT)テスト1hを位置づける。
	1～4年	通年	「かがやき」を，週2回程度，国語の時間の始め5分に位置づける。
	5・6年	通年	「はばたき」を，帯タイムに位置づける。
	4年	12月	福岡市学力状況調査1hを位置づける。
	6年	4月 12月	全国学力・学習状況調査1.5hを配当する。 福岡市学力状況調査1hを位置づける。
社会科	4年	10月	博多の町の発展につくした人々「博多駅」(10h)の単元において，見学2hを学習に位置づけ，往復1hを教育課程外に位置づける。
		12月	福岡市学力状況調査1hを位置づける。
	5年	10月	北九州見学(要予約)を2h(移動は教育課程外4h)を位置づける。
	6年	6月 9月 11月 12月	平安時代の学習1hを，埋蔵文化センター出前授業の内容を充てる。 修学旅行において，「江戸と町人文化」2hを位置づける。 「政治の働き」の学習で「山王雨水調整池と人々の願い」を位置づける。 福岡市学力状況調査1hを位置づける。
算数科	全学年	1月	全国標準学力検査(NRT)テスト1hを位置づける。
	4年	12月	福岡市学力状況調査1hを位置づける。
	6年	4月 12月	全国学力・学習状況調査1.5hを配当する。 福岡市学力状況調査1hを位置づける。
理科	3年	11月	少年科学文化会館1日学習の「プラネタリウム」は，教育課程外1hとして位置づける。
	4年	12月	福岡市学力状況調査1hを位置づける。

	5年	6月	自然教室「水生生物観察」に、理科 1h を位置づける。
	6年	12月	福岡市学力状況調査 1h を位置づける。
生活科	1年	4月 10月	学級びらき（学活） 1h の事後指導に、スタートカリキュラムとして生活科 3h を配当する。 鍛錬遠足（学校行事）において、生活科 2h として位置づけ、 【学校行事 3h ＋生活科 2h 】の5時間実施とする。
	2年	10月 10月	鍛錬遠足（学校行事）において、生活科 2h として位置づけ、 【学校行事 3h ＋生活科 2h 】の5時間実施とする。 美野島商店街の学習（体験学習を含む）を行う。 （繁忙期の11月～1月を避けて、10月までに行う。）
音楽科	全学年	通年	統合校の校歌が制定されるまで、 行事に際しては、国歌を斉唱する。
	2年	12月	博多区音楽会 3h （移動は、教育課程外1）を位置づける。
	3年	11月	少年科学文化会館1日学習の「リコーダー」は、音楽 2h として位置づける。
図画工作科	全学年	6月	スケッチ大会（住吉神社内） 2h を位置づける。（9月初旬に応募）
	全学年	9.10.11月	アジア美術館の絵画の鑑賞 2h 位置づける。 （美術館と学校の往復＝教育課程外 1h ） 【1・2年＝9月実施 3・4年＝10月実施 5・6年＝11月実施】
	4.5.6年	10月	「木版画」学習を 6h 位置づける。
家庭科	5年	6月	自然教室「野外調理」を 2h を位置づける。
体育科	全学年	6月	（新体力テストは、学校行事 2h として位置づける。）
	全学年	6月	新体力テスト後に、課題克服の為の体作り運動（5分×9回＝45分）を授業に取り入れる。（5×9＝1単位時間）
	全学年	6・7月	水泳学習を8h を確保する。着衣泳は、 教育課程外1h を当てる。
	全学年	10・11	持久走大会を、持久力を高める運動として、体育の時間内に15分×6回程度位置づける。
	全学年	11月	持久走学年プレ大会を体育 1h としてに位置づけ、 持久走大会【11月30日実施】を学年行事 1h に位置づける。

3 道徳

道徳	全学年	6月	平和学習1を3－（2）生命尊重に位置づける。
	全学年	12月	規範教育の万引き防止、学活（2）の内容の関連で、4－（2）公平、公正、正義 1h を位置づける。
	全学年	12月	人権公開学習の題材を位置づける。

(1) 重点指導内容項目

※児童の実態、学校統合の状況を勘案し、重点指導内容項目を下記の通りとする。

第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
1 - (1) 基本的生活習慣	1 - (1) 基本的生活習慣	1 - (1) 基本的生活習慣
1 - (2) 勤勉・努力	1 - (2) 勤勉・努力・忍耐	1 - (2) 勇気・希望、不撓・不屈
2 - (1) 礼儀・真心	2 - (1) 礼儀・真心	2 - (1) 礼儀・真心
2 - (3) 信頼・友情	2 - (3) 信頼・友情	2 - (3) 信頼・友情・男女協力
3 - (1) 生命の尊重	3 - (1) 生命の尊重	3 - (1) 生命の尊重
4 - (1) 公共心、規則の尊重	4 - (1) 公德心、規則の尊重	4 - (1) 公德心、規則の尊重、義務の遂行
4 - (2) 勤労、社会奉仕	4 - (2) 勤労、社会奉仕	4 - (2) 勤労、社会奉仕
4 - (4) 愛校心	4 - (4) 愛校心	4 - (6) 愛校心

(2) 指導計画作成の手順

<p>①両校の指導計画と資料（副読本）の確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導計画と資料（副読本）が一致しているかを確認。 ○ 平成20年度以前の副読本を活用していないかを確認。 ・平成20年度以前の副読本は、旧学習指導要領の指導内容項目で記載されている。 ・指導内容項目については、新学習指導要領では一部変更がなされている。 ・「新旧学習指導要領 道徳指導内容項目 簡易対照表」で確認を行い、正しい指導内容項目に置き換える。
<p>②指導計画の作成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間の学年学級経営、学校・学年行事、教科の内容、学級活動、生徒指導、保健指導、公開学習などとの関連を図りながら、月ごとの指導内容項目の位置付けを行う。指導内容項目毎の配当時間数については、別途資料を参照すること。 ○ 平成23年度両校の指導計画をすりあわせ、効果的な指導内容項目の配置を確認する。 ○ 指導内容項目によっては、複数時間配当されている場合には、基本的には、「1時間（45分間）に1資料」で指導を行う。1資料を複数時間で指導することは比較的比較の難しい。 ○ 1指導内容項目で複数時間指導を行う場合は、道徳的実践力（道徳的心情、道徳的判断力、道徳的実践）をバランス良く育成する観点から資料の選定を行う。 ○ 「ぬくもり」の活用については、学期1題材を基本として（年間3～4題材）、資料の内容を的確に把握して指導内容項目に照らして位置付けを行う。

(3) 指導にあたって

道徳の時間の役割	指導過程	道徳の時間における言語活動
<p>道徳の時間は、全教育活動で行う道徳教育の要の時間であり、道徳的価値を補充、深化、統合し自己を振り返り、よさや課題を自覚させることがねらいである。</p>	<p>(1) 導入 学習のめあての把握</p> <p>(2) 展開 展開前段では、資料を活用し、価値の内面的自覚を図る。 展開後段では、自覚した価値を通して、自己を見つめる。</p> <p>(3) 終末 道徳的価値の継続を図る。</p>	<p>○考えをまとめる（書く活動）を通して、考えや気持ちを明らかにする。</p> <p>○他者との交流活動を通して考え方や生き方を学ぶ。</p> <p>○自己との内面的な対話を図る。（内省の態度の育成）</p>

(4) 副読本の整備に当たって

- *住吉小と美野島小の副読本の冊数（42冊）の確認をする。
- *不要副読本の廃棄（美野島小で廃棄する。）

4 特別活動

	学年	時期 (月)	教育課程編成における留意点 ※全＝全学年に共通すること ※1h＝45分間の1単位時間
学級活動	全学年	4月 4月 12月	学級びらき1hをアに位置づける。*人間関係づくり 避難訓練事後指導1hを位置づける。 規範教育の万引き防止教室の事後指導に、学活1hを位置づけ、 (2)の内容ク(その他)とする。
	全学年	5～11	食育指導1h(GT活用)を位置づける。 【1・2年＝5月 3・4年＝10月 5・6年＝11月】
	全学年	7月	ノーメディアの指導を、全学年1h単位時間行い、継続的に学級指導に位置づける。 【内容＝1年～5年テレビの時間 6年インターネット, 携帯電話】
	5年	10月	住吉中体験学習を学活1hとして、内容は(2)－(ア)「希望や目標をもって生きる態度の育成」を位置づける。 【中学校までの移動については、教育課程外1h】
	6年	7月	福岡市生活習慣、学習定着度調査1hを位置づける。
児童集会	全学年	4月	低学年, 中学年, 高学年に「学校の決まり集会1h」を位置づける。 【この集会については、「教育課程外1h」とする。】
	全学年	4月	歓迎遠足出発前の「歓迎集会」＝「児童集会1h」
	全学年	7月	「七夕縦割り集会(仮)」＝「児童集会2h」
	全学年	11月	「秋の文化祭集会(仮)」＝「児童集会2h」
	全学年	3月	「お別れ集会」＝「児童集会2h」
委員会	5. 6年	通年 11回	【委員会の名称】 ①児童会 ②環境 ③飼育 ④保健 ⑤放送 ⑥給食 ⑦図書 ⑧音楽 ⑨体育
クラブ	4～6年	通年 16回	【クラブ活動の名称】 ①一輪車 ②卓球・バドミントン ③球技 ④パソコン ⑤イラスト・図工 ⑥手芸・料理 ⑦科学 ⑧囲碁将棋百人一首 ⑨伝統文化 ⑩昔遊び
代表委員会	3～6年	5月 6月 9月 10月 11月 1月 2月	運動会を成功させよう(児童会) 安全な過ごし方を考えよう(保健) リサイクルへの関心を広げよう(環境) ユニセフ募金をしよう(児童会) 読書週間に取り組もう(図書) 給食の先生に感謝をしよう(給食) 6年生を感謝の心でおくろう(5年生) 1年生を歓迎しよう(児童会)